

# 町制施行50周年

# 記念式典

## 第1部 記念式典次第

- 開会のことば
- 国歌斉唱
- 町長式辞
- 議長あいさつ
- 表彰式
- 来賓祝辞
- 祝電披露
- しおやの名木50選紹介
- ふるさとたからもの自慢一紹介
- 閉会の言葉

## 第2部 記念講演

演題「佐貫観音の文化史的意義と塩谷町」  
慶應義塾大学 教授 山内 志朗氏

### 祝 塩谷町 町制施行50周年記念式典



▲見形町長は50年の歴史を振り返り、「節目の年を『将来を指し示す年』にしたい。本日の式典が新たな出発点となるように努める」と述べました。

## 50年の歴史を振り返り、 新たな50年への決意を

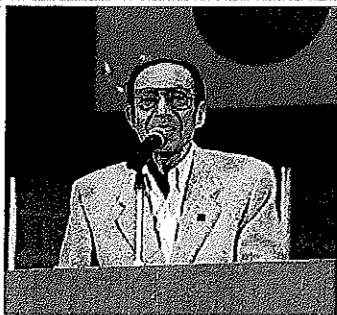
このたび二月十一日に、塩谷町制施行五十周年の記念式典が塩谷中学校アリーナで開かれ、国会議員や県内市町長、住民ら約三百五十人が出席しました。

町の歴史が詰まったスライドショーが写されたあと、福田徳一商工会長の開会のことばで式典が始まりました。見形町長は式辞で、尚仁沢湧水の全国名水百選認定やイヌブナ自然林の国天然記念物指定を例にあげ、「町制施行以来、先人たちの努力により一貫して豊かな自然と文化が脈々と受け継がれてきた」と語り、五十周年を町の新たな出発点としたいと今後の発展を誓いました。

そして、田代浩敏議長の挨拶、町の発展に貢献した方や団体への表彰式が行われた後に、来賓の福田富一知事や国会議員の方々、そして名誉町民である作曲家・船村徹先生からのご祝辞をいただきました。

第2部では、慶應義塾大学の山内志朗教授を招き、「佐貫観音の文化史的

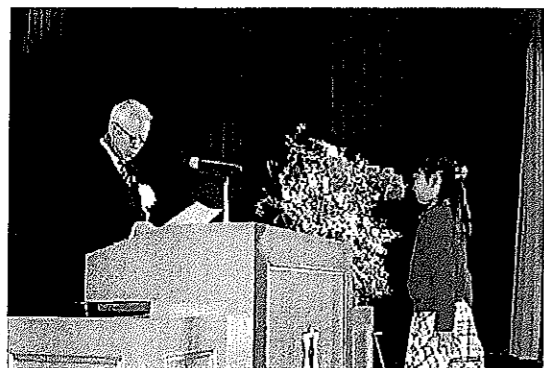
### 名誉町民・船村徹先生も登場！



船村徹先生は、SLが走っていた当時の町のエピソードを披露。「塩谷町は本当に良いところだから50年を迎えた町に負けないように自分たちも一緒に頑張っていきましょう」と力強く語ってくださいました。

意義と塩谷町」をテーマに講演が行われました。山内教授は「三月十五日の奥之院御開帳でどんな宝物が出てくるか期待して見守ってほしい」と語っていました。

式典に出席した住民の方々は、「50年の歴史を振り返りつつも、新たな50年への決意を感じる事ができました」と話してくれました。



▲町内最高齢者・103歳の富田ヨシさんの表彰には玄孫の富田結花さんが登壇



▲国歌斉唱と「ふるさと」斉唱ではコーラスしおやの方々の美声が響き渡りました



▲本町と宮城県女川町の深い交流にご尽力いただいた阿部進一さんにも感謝状が送られました



▲第2部で記念講演をいただいた慶應義塾大学の山内志朗教授